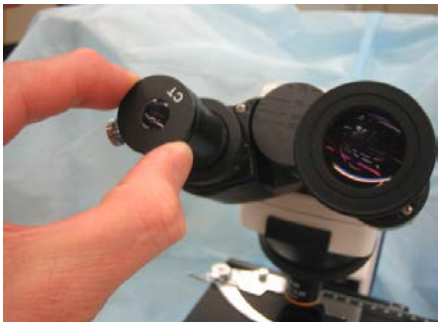


■位相差観察の「心出し」について

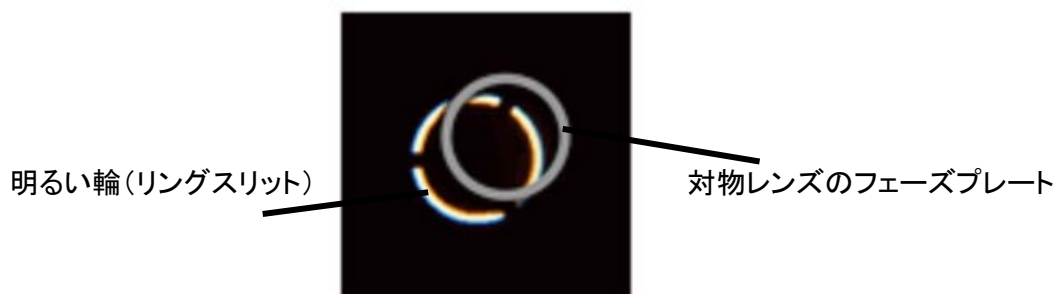
- 1) 使用する対物レンズ(位相差観察用)を光路に入れます。
- 2) コンデンサの「PH」表示を、先ほど光路に入れた対物レンズの「PH」表示と同じに合わせます。



- 3) サンプルをセットし、おおよそのピントを合わせます。
- 4) どちらか片方の接眼レンズを外し、「心出し望遠鏡(CT)」を差し込みます。
- 5) 「心出し望遠鏡」の上部のピント合わせ用のフォーカスつまみをスライドさせます。



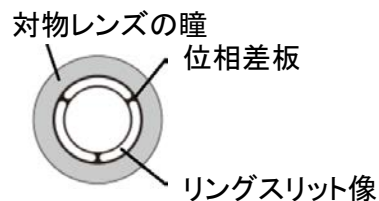
- 6) 「心出し望遠鏡」を覗きながら、視野内の明るい輪(リングスリット)と暗い輪(位相差板: 対物レンズのフェーズプレート)が、はっきり見えるようにピントを合わせます。



- 7) 芯出し調整ミニレンチを差し込みます。内部のネジの頭にミニレンチを当てて左右に回すことにより、位相差板のリングスリット像を同心に重ねます。明るい輪が暗い輪と同心円上に重なるように調節します。



ミニレンチを差し込みます



- 8) 「心出し望遠鏡」を外し、接眼レンズに交換します。
- 9) 「心出し望遠鏡」を外し、接眼レンズに交換します。使用する対物レンズを光路に入れます。□ 対物レンズのPH表示と位相差コンデンサのPH表示を合わせます。位相差観察が可能になります。